

チェーンソー講習会

松戸里やま応援団

林業・木材製造業労働災害防止協会 チェーンソー特別教育

講師：小林哲也氏、千葉県森林組合 南部支所 林業サービスセンター（君津市）

受講生：松戸市 13 名 + 柏市 2 名

6月14日（水）アウトドアセンターで座学

チェーンソーの説明（ヘルメット・手袋・靴・チャップス・ズボン等、
携帯品：手ノコ・ナタ・クサビ・ハンマー・笛等、
注意事項の話などは作業の安全ナビ教本に沿って説明、
伐材造材作業のDVDで纏め

6月15日（木）アウトドアセンターで午前中は座学

2サイクルエンジンオイル（機械の性能向上により 25：1⇒50：1 に変わってきた）

チェーンソーメンテナンス：毎日（作業終了時に実施）・毎週・毎月実施により
作業効率がよくなり、機械寿命が伸びる。

構造・点検整備：12項目、綺麗な場所で作業、必要な道具：目立て道具一式・
ブラシ・レンチ・マイナスドライバー・ガイドバー溝清掃道具

クラッチカバー・ガイドバー・ソーチェンを外して分解、最も汚れやすいのがクラッチカバーの裏とスプロケット周辺、ブレーキバンドに異常が無いかも点検、エアーコンプレッサーやブラシで残りの木屑を除去。本体側のスプロケット周辺、オイル孔とかクラッチドラムとかを重点的に清掃。清掃が終わったらガイドバーとソーチェンを取り付け、ソーチェンのテンション調整は整備時だけでなく、運転中も頻繁に行う。整備の中で最も大事なのが、ソーチェンの目立て。振動障害を避けるため 2hr 以内の作業を守ること、林業従事者は平均 4hr
DVD：危険な作業 架かり木、点検整備

午後は野外でチェーンソーの分解と組立て、目立て体験、機械の構造と点検整備

6月16日（金）囲いやまの森 午前中の実習

